

目次	1
【はじめに】	1
【名古屋市営交通事業経営計画 2023 の理念、安全方針、コンプライアンス方針、接客方針】	2
●市営交通事業のあらまし	3
●名古屋市営交通事業経営計画	4
●乗車人員の状況	7
●令和4年度の予算	8
●令和4年度の取り組み	9
●令和3年度の決算見込	11
●市営交通 100 周年記念事業	12
●お客さまから信頼される交通局をめざして	
・安全確保のために	14
・災害に備えて	22
・接客サービスの向上	25
・新型コロナウイルスに関するお願い	27
・事故防止・マナー啓発	28
●市バス・地下鉄の料金	29
●ICカード「manaカ」	31
●市バス	
・市バスのあらまし	34
・運行のあらまし	35
・定時運行をめざして	37
・人にやさしく	38
●地下鉄	
・地下鉄のあらまし	41
・営業線のあらまし	42
・駅施設のあらまし	44
・車両	45
・人にやさしく	46
・地下鉄のあゆみ	49
●資産の有効活用	50
●情報の提供と集約・反映	52
●市営交通を楽しむ	54
●名古屋市交通局の組織	57
●交通局のあゆみ	58

## はじめに

名古屋市の交通事業は、大正11年(1922年)に路面電車、昭和5年(1930年)に市バス、昭和32年(1957年)に地下鉄の営業を開始し、「市民生活」、「都市活動」を支える都市基盤として名古屋市の発展に寄与してきました。

現在では、市バスと地下鉄の一体的なネットワークにより、市民・利用者の皆さまの身近で利用しやすい交通手段として重要な役割を担っております。市バスは、市内全域に769kmのきめ細かな路線網を有する、機動性に優れた公共交通機関として、また、地下鉄は、6路線93kmの路線網により、高速で定時性を有する、大量輸送が可能な基幹的交通機関として、あわせて毎日約132万人の皆さまにご利用いただいています。一方で、市バス・地下鉄とも新型コロナウイルス感染症の影響により乗車人員が大きく減少しており、コロナ前の令和元年度と比較して8割程度となっていることから、経常収支が2年連続の赤字となるなど非常に厳しい経営状況になっています。

交通局は、令和4年8月に100周年を迎えます。これからも、法令を遵守し、ヒューマンエラーの防止に努め、安全を第一に、安心・快適でより便利な交通サービスをお届けいたします。

また、一層の経営改善に取り組むことにより、次の100年も市民・利用者の皆さまに、より信頼され、将来にわたって日常生活の移動手段の役割を担っていくことができる市バス・地下鉄をめざしてまいります。